

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュ三河安城		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 12月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・園の休業日に色々なイベントを企画・実施している事。	・季節や子供達の状態に応じた外出先やイベントを工夫している。	・子供達や保護者様の意見などを反映させたい。 ・職員間で意見を出し合い新たな外出先やイベントを検討したい。
2	・送迎やモニタリング時の面談の際に保護者とコミュニケーションを増やして相談しやすい雰囲気を作っている。	・活動の内容や写真をHUGに入力し、送迎時にも分かりやすいように口頭で伝えている。また、子供の様子を観察して職員と共有し保護者に良い所や頑張っている所をしっかりと伝えている。	・新しい活動やお出かけ先を増やし、子供の興味や長所を見つけて職員間で情報共有し、保護者に伝えるようにしている。 ・保護者から子どもの様子について聞いたことを職員間で共有する。
3	・保護者の要望や困りごとに対して、工夫しながらできる限り対応し、速やかに回答している。 ・また、保護者様との積極的なコミュニケーションの確保を大事にしている事。	・出来ないと決めつけず、どうしたら要望に応えることができるかを考え、職員間で話し合っている。 ・今まで急な利用の追加や送迎の組み換え、保護者の仕事の都合での要望に対して延長支援などで工夫し対応している。 ・定期的な保護者会の開催と保護者面談やモニタリングを通じた定期的な意見交換をしている。	・保護者様からの要望を聞き出すだけでなく、保護者様が困っていることは何か考え、事業所内で共有し利用しやすい仕組みを整えるようにする。 ・保護者会や兄弟・姉妹との交流イベントの開催を通じた保護者間の連携強化。 ・保護者アンケート等による継続的なニーズ把握と改善。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・感染症マニュアルや防犯マニュアル、虐待防止や身体拘束等のマニュアルは作成されているが保護者に周知されていない事。	・各マニュアルを使用して社内研修や感染症対策の訓練を実施していることをインスタグラムやチャイルド通信などですべてを発信することが出来ていなかった。	・契約時やモニタリング時等で保護者様に説明をすることやマニュアルの作成時や研修、訓練等を実施した場合にはチャイルド通信やインスタグラムで発信するようにする。また、インスタグラムを見て頂けるように保護者に面談時や送迎時に伝えて行く。
2	・事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っており、訓練も行っているが、実際に緊急事態が起こった際に、スムーズに対応ができるように全従業員に周知と訓練を行っていくことが必要だと考える。	・マニュアルでは情報量が多く、実際に対応する際にはスムーズではない可能性がある。	・より手順を分かりやすくしたフローチャートの整備や訓練を行いたい。
3	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やお子さんと保護者で参加出来る研修やイベント、情報共有の場の機会が少ないこと。	・モニタリング時にお困りごとや子供に対する育児相談等は行ってきたが、保護者が仕事を持っていたり育児をされていたり、あまり要望がない為、開催する機会が少ない。	・家族などが参加できる研修会の参加については、実現方法を検討する。